

平成30年度 藤枝順心中学校・高等学校 学校評価(年間) (評価規準 A:十分に実践されている B:ある程度実践されている C:不十分である D:分からない)

建学の精神 女性の自律・自主と先度他の心の涵養						
教育目標 白梅精神のもと、「清楚な生徒」、「芳香を発する生徒」、「忍耐のできる生徒」を育てる。						
本年度の重点目標 ①学習指導の充実 ②進路指導の充実 ③生活指導の充実 ④情報発信の充実 ⑤健康管理 ⑥安全管理						
重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
①学習指導の充実	アクティブ・ラーニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試改革に向けて、アクティブ・ラーニング、ICTを利用した授業の実践方法、必要設備について模索する。〔5教科による、年2回の研究授業及び、授業検討会を行う(前期はICTを利用)〕</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクティブラーニング・ICTを取り入れた研究授業、検討会が不十分ではあるが実施できた。まずは一步踏み出したと思う。</li> <li>研究授業が教科を越えて見られるように、ビデオに記録して見られるようにしたい。</li> <li>iPadの利用を進めたい。また、ICTの環境をさらに整えたい。</li> <li>ICTを利用した授業を何回か実施したが、事前準備に時間がかかり、どう工夫していくかが課題である。</li> <li>研究授業、検討会は7限をカットするなど、全職員の参加の体制を作りたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究授業、検討会に取り組む姿勢に前進が感じられる。改革には、ある程度の時間が必要であり、全職員の理解と協力体制を組むことが大事である。</li> <li>ICT環境の整備、充実は必要不可欠であり、引き続き進めていただきたい。活用については、研究授業を通して生徒の反応を検証するとともに、この技術の活用による多忙な教育現場における先生方の負担軽減の方策の検討も含め、次年度以降の取り組みに期待します。</li> </ul>
	学力分析と学習方法の考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベネッセの到達度テスト(基礎力診断テスト及びスタディサポート)を利用し、事前教材を使って学習量を増やす。事後の結果から学力の抜け漏れを確認しそれを補う指導をする。</li> <li>河合塾・ベネッセの模擬試験を通して、志望校合格のための学力や学習内容を認識させる。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベネッセの到達度テストを利用した学習指導は、定着しつつある。ただ、事前指導に比べ、事後の指導がまだ、不十分。</li> <li>進学クラスが受験する河合塾・ベネッセの模擬試験については、対策がまだまだ、足りない。事前に過去問を扱う、また事後の復習などやれることは多くあると思う。</li> <li>礼儀作法、就職に強いだけでなく、「学習指導を熱心にしてくれる」学校と評価されるために、学校全体、全職員の意思統一が重要。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>礼法、就職指導、「熱心な学習指導」のすべてが重要との考え方、是非、全職員の意思統一の元、進めてください。</li> <li>ベネッセの到達度テストは、学力評価がはっきりと出て、親にも分かりやすい。</li> <li>学力レベルの更なる向上のためには、事後の対策は不可欠であり、指導の充実をお願いします。</li> </ul>
②進路指導の充実	就職指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年後の就職を意識させ、3年間を見通した指導計画を提示。</li> <li>希望する企業から説明を受ける機会を設ける。(本校に20社程度来校する予定)</li> <li>職場見学や卒業生等による講話を通して、会社への理解を深め社会人になることへの意識高揚を図る。</li> <li>徹底した面接指導及び基礎学力の充実を図り、希望する会社への内定を勝ち取る。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職希望者67人全員が内定して、年度当初の目的を達成できた。</li> <li>夏季休業中の面接指導は、3年部以外の職員も担当し、学校をあげての体制で臨むことができた。</li> <li>本年度初めて19社の企業を招き、企業ごとのブースを設け、生徒への説明を行った。2、3年生を対象に、1人4社の説明を受け好評であった。</li> <li>2年生への就職指導は、年度後期から進路講話、筆記対策、新聞を読むでのコメント作成などを行った。</li> <li>生徒へのアドバイスをするためにも、教員も企業の説明会や企業見学に積極的に参加すべきだと思う。</li> <li>高1、中学生のキャリアプランニングの授業も取り入れたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業を招いての説明会、素晴らしいと思います。</li> <li>他の学校よりも、十分な指導をしていただいていると実感しています。</li> <li>希望者全員の内定、先生方の努力と綿密な指導の結果だと思います。</li> <li>「100%内定」を目標のスタートラインととらえ、ミスマッチのない、少しでもレベルの高い企業を見据えた進路指導をしてほしい。</li> </ul>
	進学指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>国公立大学&amp;中堅以上私大推薦入試合格4名、一般入試合格4名(センター試験70%を目標として実力養成)</li> <li>高大接続改革(CBT・問題解決能力・ポートフォリオ試験)への対応</li> <li>高校基礎学力テスト(高大接続改革に伴う)への対応</li> <li>年2回の進路ガイダンスの改善充実。</li> <li>外部模試の準備・受験・復習の充実</li> <li>スコラで計画的な学習習慣を、スタディサプリと受験対策講座で学力をつける。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>入試結果は、2年連続国公立大学合格者5名以上となった。ただしセンター試験で70%を達成できず、昨年同様もう一步であった。</li> <li>推薦で、慶応、多摩美などの合格者がでたが、一般入試での実績をもう少し伸ばしたい。</li> <li>一般入試での合格者を増やすために、しっかりとした学力をつけさせたい。センター試験の受験指導、部活動と進路関係の行事との係わりを整理・明確化し、生徒が両立に不安なく専念できる体制を作ることが必要。</li> <li>高大接続改革への対応は、タブレット・記述問題対策、自分史の電子データ化など対応しきれていない。</li> <li>外部模試対策が不十分に感じる。</li> <li>スタディサプリの運用を効果的にするための方策を早急に考えたい。</li> <li>計画的な学習習慣をつけさせるためには、職員の意思統一が必要。</li> <li>中学生には(高1・2も)将来を見通したキャリアプランニング学習が必要。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般入試の実績からは、更なる学力向上が必要であると感じます。生徒の意識のみならず、学年全体としても大学進学を目指す生徒に対して、大学で何を学び、それを将来にどう生かすのか、社会に出てからの目標を明確にさせるなど先生方の指導と生徒の意識改革が必要です。少し高い目標や受験への自主性が高まるよう、指導方法や指導体制の強化・充実をお願いします。</li> <li>明誠の進学指導を参考にすることも必要ではないか。</li> </ul>

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
③生活指導の充実	礼法教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>「your steps」に従い美しい所作を指導する。(椅子の掛け方、歩き方、ドアの開け方、お茶の入れ方など)</li> <li>会食指導は礼法にかなった食事作法を実践する。</li> <li>会釈・挨拶の励行をし、場に応じた挨拶の指導をする。</li> <li>「授業をする上での留意すべき事項」に従い、礼法指導に即した授業実践をする。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体としては「Your steps」に従った指導ができているように思う。ただ、教員による意識の温度差があるため、本校の礼法教育の意義を今こそ再確認したい。</li> <li>現在の生徒の様子を見ると、4人に1人は挨拶、会釈がきちんとできていないように思われる。また、会食については、形はできているように思うが、身につけているかどうかは疑問である。追会食など各学年で工夫をしている。</li> <li>全般的に、校内のみならず、校外でも実践できるように指導を粘り強くしていく必要がある。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「しつけの順心」のイメージは、昨今の風潮にそぐわないように思われるので「礼法」の言葉を意識的に広めたい。</li> <li>挨拶、会釈は自然に出るようにして欲しいと思いますが、何回かその場面で注意されなければ身に付きません。粘り強い指導が必要かもしれません。先生方も指導の再確認、意思統一のための研修を行ってはどうでしょうか。</li> <li>就職に直結することでもあり、強みにもなります。</li> <li>「必要ない」と思う生徒がいるとは思いますが、「必要だ」と教えてあげて欲しいと思います。</li> </ul>
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>「情報収集→まとめ→分析→報告」を繰り返し、教師相互の共通理解を図り、指導にあたる。</li> <li>一報を通して迅速な情報共有に努める。</li> <li>週番活動を通して校風高揚に貢献する姿勢を指導する。</li> <li>校風向上習慣、マナーアップキャンペーンで清楚な身なりを指導する。</li> <li>清掃活動を通して環境美化に努め、施設を丁寧に使用することを指導する。</li> <li>教室内の整理整頓を通して私物の管理を正しく行い、清潔な生活感覚を育てる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>一報を通じての、クラス・学年・生徒指導課・保健室等の情報の共有、連携がスムーズに行われ、生徒指導上うまく機能している。</li> <li>校風向上週間とマナーアップキャンペーンを分けて実施することで確認の観点が明確になった。校風委員の確認が形だけにならないように、担任のサポートが必要である。達成率100%よりも、より厳密な50%のほうが価値があることを意識づけることが重要。</li> <li>清掃がきちんとできない生徒が増えていることを感じる。また、きちんと指導できない教員も増えていると実感する。もう一度、本校における清掃活動の位置づけを再確認する必要があると思う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導については、PDCAサイクルの実践により、改善が図られていると思います。</li> <li>常識や心を育てる時期なので、基本的な生活習慣はきちりとした指導が欲しいと思う。</li> <li>順心＝校舎がきれい、そこが強みだと思います。きれいな校舎・教室で勉強できることへの価値観を持ってほしい。そして、その校舎・教室への愛着を持ちきちんと清掃する、そんな指導をお願いします。</li> </ul>
④情報発信の充実	学年通信 学級通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>通信を、学年主任・担任と保護者とのコミュニケーションの一つと捉え、学年・学級の状況を伝える。 〔月1回発行〕</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>月1回の発行はできなかったが、隔月あるいは学年通信と学級通信の交互の発行など、定期的には出すことができた。</li> <li>保護者とのコミュニケーションという点で大切だということは認識しているが、月1回はなかなかできていないのが現状である。発行日を設定する、学年で月の担当を決めるなど工夫をしていきたい。</li> </ul>	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級・学年通信には、学校での子供の様子や先生方の指導に対する熱意や思いを保護者に伝えていただく役割があります。クラス、学年間でばらつきがないように定期的な発行をお願いします。</li> <li>発行日には、一斉メールを流したらどうでしょうか。</li> </ul>
	オープン キャンパス	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパスは年2回実施し、担任とのコミュニケーションを図る機会とするなど学校理解の促進に努める。 〔参加率70%達成をめざす〕</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の参加率は46%。</li> <li>ここ数年、参加率70%は、達成できていないが、各学年とも様々な工夫している。学年のフロアに学年行事の写真を展示したり、保護者対象の進路説明会を開いたり、後期はコーラスコンクールを開催した。</li> <li>日程、曜日、行事の工夫のほかに、目的・あり方を考える時期にきているのかもしれない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の希望する内容を、アンケートでとったらどうでしょうか。</li> <li>クラスに入りやすい工夫をお願いします。</li> <li>保護者が参加しやすい行事となるよう、検討をお願いします。</li> </ul>
	ホーム ページの 活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報発信のタイムリー性と実用性の向上</li> <li>学年・分掌・教科内での原稿作成者決定(行事、検定等)</li> <li>各行事の更新担当を明記</li> <li>部活動記録の月毎の更新</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>整理されて、見やすいものになっていると思う。</li> <li>非常に見やすく、女子高らしい清潔感があるホームページだと感じる。</li> <li>ホームページでもっと学校をアピールできたらと思う。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>美デ科の作品や作品作りの様子が載せられていて、楽しみにしています。</li> <li>随時更新されていて、情報発信ができています。保護者や生徒のアクセス状況は分かりませんが、専用ページなどを作成し、学校とのコミュニケーションツールとしての活用も検討が必要ではないかと思います。</li> </ul>

重点目標	評価項目	具体的方策又は評価項目を評価する具体的な指標	評価	成果及び来年度への取り組み	評価	学校関係者からの意見
⑤健康管理	保健管理 保健教育 健康相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の健康観察、定期健康診断の実施</li> <li>・校内の救急体制を整備し、家庭との連携を密にする。</li> <li>・生徒の成長や実態に即した健康教育を実施する。</li> <li>・健康相談の充実を図り、生徒の支援を行う。その際、必要に応じ、スクールカウンセラーとの連絡を密にする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対する健康観察、健康相談は大変よくしてもらっていると感じる。特にインフルエンザが流行したときの、手洗いや手指消毒の励行、チェックは良かった。</li> <li>・スクールカウンセラーや養護教諭との連携もスムーズに行われている。</li> <li>・中学生にとって「生活の記録」は、生徒の心の状態を把握するのにとても役立っている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充実した学校生活を送るためには、健康が何より大切であり、健康の保持増進への取り組みについては、十分できていると思います。今後もきめ細かく対応できる連携体制の充実をお願いします。</li> </ul>
⑥安全管理	避難訓練の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校独自の避難訓練を年2回実施 〔6月は従来通りの訓練 9月は突然の訓練を実施〕</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月実施の地震避難訓練では、雨天のため予定していた救助袋での脱出訓練などは実施できなかった。</li> <li>・9月の火災避難訓練は、初めて備蓄していた非常食を食べる体験を行った。</li> <li>・生徒が危機感を持つような、効果のある訓練の実施が必要。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する訓練は、マニュアルの整備はもとより、実効性のある訓練を継続的に行い、生徒が常に落ち着いて行動できるようにすることが重要だと思います。引き続き「命を守る訓練」への取り組みをお願いします。</li> </ul>
	職員防災体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災関係の職員研修会を実施(7月)</li> <li>・初期消火訓練、救急対策講習会などの実践的訓練を通し、職員の意識向上を図る。</li> <li>・職員の役割分担の周知、徹底をはかる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月の職員研修では、職員の役割分担の説明を行った。</li> <li>・校舎内の避難時における、消火器・消化ホースの位置・防火扉の使い方など確認したい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に対する意識向上は重要だと思います。役割分担の確認、徹底はもとより訓練内容の充実や訓練後の検証を十分に行い、今後の訓練の在り方や防災設備備品の充実に努めてください。</li> </ul>